

みなさんこんにちは。今回は、先月の活動の中から特に思い出に残った二つの「餅つき」を紹介します。

まず一つ目は、メタセの社での松鳳山関を迎えての餅つき大会です。私は子どもころから大相撲が好きで、特に千代の富士のようにスピード感溢れる取り組みを見せる力士を応援しています。現役の人気力士を間近で見られる機会とありワクワクしていました。当日、近くで関取の姿を目の当たりにしましたが、正



▲松鳳山関と！！

直なところそこまで大きく感じませんでした。しかし、まわし姿になるとまるで牛のような足回りや首周りの太さに驚きました。餅つきや質問コーナーでは沢山の声援が送られていました。その光景から地域の人々を一つにするスポーツの力を実感しました。最後は、関取と記念撮影や握手をしてもらい、私もすっかりファンに！もうすぐ開催される初場所、勝ち越しを目指してがんばれ！松鳳山関。

さて、もう一つは下香楽が誇る伝統行事「円座餅つき」です。毎年12月の第一日曜日に開かれるこの行事は、少なくとも1716年から行われていることが確認されているそうです。積み重ねられた歴史の重みは、県無形民俗文化財に指定されているところから窺い知れます。朝から清地神社での神事が始まり、お昼過ぎからの直会では下香楽の皆さんとお酒を飲み交わし氣勢をあげて本番に臨みました。身体が痛くなるほどの風が吹きつける中、締め込み姿の男衆が唄に合わせて一番臼、二番臼、三番臼とつきます。そして餅つきの間には激しく臼を奪い合います。いつもは笑顔で優しい集落の皆さんですが、この時ばかりは怒涛の勢いで臼に殺到します。その熱気に押されるように観客の方々も身を乗り出して行方を見つめていました。餅は無病息災と安産の縁起物になるとされ、観客の方々に配られました。このような歴史ある行事に参加し、改めて伝統を守り繋げていくことの難しさや偉大さをひしひしと感じています。



▲円座餅つき

その一方シヨックな出来事もありました。締め込み姿になるとお腹周りが気になる状態に……。築上町の美味しい農水産物を皆さんからいただくうちに、来た当初からだいぶ丸くなってしまいました。女性ファンの皆さんを少しがっかりさせてしまったのは痛恨の極みです。同時に美味しい食べ物をもいただくだけありがたさを再確認しました。2015年もどうぞよろしくお願ひします。

＝訂正とお詫び＝

●広報ちくじょう12月号のP22のSport (スポーツ) の「第4回部内卓球大会結果 (ダブルス準優勝)」の記事の中で、記載に誤りがありました。次のとおり訂正してお詫びします。

- (誤) 油岡信男
- (正) 浦岡信男